

▷ 餓鬼めし(8月14日)

(小豆島町)

■ 8月14日早朝 小豆島町神懸通 別当川の河原



昔は、お盆が来ると先祖の霊だけではなく、成仏できない人の霊も人里に訪れると信じられていました。そうした霊を、戸外や河原で臨時のかまどを築いて、ご飯を炊いて供えもてなすための行事です。「川めし」、「川施餓鬼(かわせがき)」、「かわらけめし」、「ぼんくど」ともいわれ、このご飯を食べると夏負けしないとされてきました。かつては県内各地で行われており、小豆島では最近まで盛んに行われていました。特に「内海町餓鬼めし」は有名で、現在でも、小豆島の寒霞溪のふもとを流れる別当川の河原に、無縁仏を供養するために集まり、一家総出で精進の五目飯を食べるこの行事が続けられています。(町指定無形民俗文化財)